

CSRマネジメント

事業活動のモニタリング・見直しを行い、ステークホルダーとの対話を繰り返すことにより、CSV経営の確立を目指します。

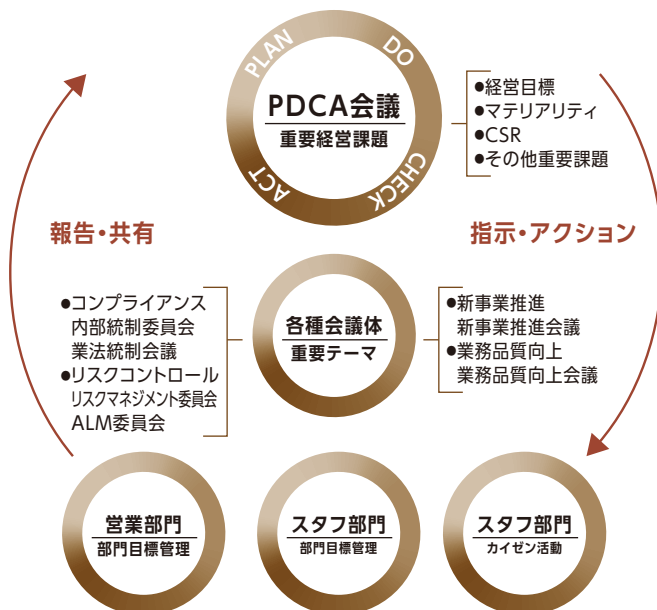
当社のCSR経営推進

当社がグループビジョンに掲げるCSV経営は、事業活動そのものが社会貢献になる活動を目指しています。そのためには、収益向上とCSR向上は車の両輪のように推進することが必要となります。当社では、代表取締役社長が議長を務め、全執行役員を構成員とした「PDCA会議」の中で、毎月マテリアリティ施策の進捗やCSRに係る重要課題の議論を行っております。

■ 当社の考えるPDCAマネジメント

当社では、経営レベルから現場レベルまでPDCAサイクルに基づいて運用しています。

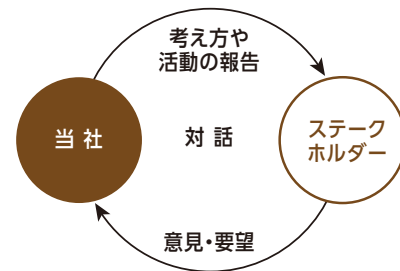
PDCA会議での速やかな意思決定が現場レベルのPDCAアクションにつながっています。各種会議体を含めた現場レベルでも業務のPDCAサイクルをしっかりと回し、重要な経営指標や諸課題を適時適切に報告・共有しています。



ステークホルダーとの対話

当社は事業活動にあたって、お客様や株主・投資家、地域社会等、当社を取り巻くさまざまなステークホルダーとの対話を重視しており、各ステークホルダーと日常的な対話の機会を設けています。これらの対話から得られたステークホルダーのご期待やご意見、ご要望にしっかりと耳を傾け、自らの事業や経営に的確に反映していくことで、企業価値の向上や競争力の強化に努めています。また、これらの結果を適宜フィードバックしていくことで、ステークホルダーとの信頼関係の構築につなげています。

→ 詳しくはP13「ステークホルダーダイアログ」をご覧ください。



社員との対話

当社では、社長と社員との直接対話を通じて、グループビジョンや経営陣の意思を積極的に共有し、相互理解を深めております。

2018年3月期は「中期計画2017」の活動促進を目的に、現状課題や進捗状況を社長と社員が意見交換する会を計38回開催しました。これは目標達成に向けた多くの気づきと改善を促す機会となりました。

主な対話の方法

お客様	セミナー・勉強会の開催等
社員	社長との対話会、従業員意識調査等
株主・投資家	会社説明会・株主総会の開催、個別面談、環境情報開示基盤整備事業への参加、アンケート等
地域社会	みなと環境にやさしい事業者会議(mecc)や各地域のイベントへの参加等
環境	21世紀金融行動原則・港区環境美化推進協議会での活動等